



ニュースリリース
2010年3月3日

**エクスペリアン、不正防止システム Hunter (ハンター) の提供を日本で開始
～本人確認の強化、反社会的勢力の排除に貢献～**

世界最大規模のインフォメーションサービス企業であるエクスペリアン(日本:COO 大森茂人、本社:英国ノッティンガム、米国カリフォルニア州コスタ・メサ、ブラジル サンパウロ、CEO ドン・ロバート)は、不正検知および防止製品である Hunter II の日本における提供開始を 2010 年 3 月 3 日(水曜日)に発表しました。Hunter はさまざまなルール設定と包括的検証技術により、口座開設、金融商品の申込時の疑わしい申請を高度に検知し、防止します。Hunter は、日本国内で既に金融サービス企業 1 社に導入されました。今後、銀行、金融サービスを中心に提供を開始します。地方銀行を含む中小の金融機関向けには、ASP タイプでも提供されます。

英国において Hunter システムは既に 10 年以上に亘る運用実績を持ち、銀行、金融サービス、保険業界などの不正損失の削減に貢献してきました。この製品は、欧州、アフリカ、南米やアジア各国でも活用され、全世界 150 以上の企業で運用されています。

Hunter は申請内容から疑わしい内容を識別し、本人確認の強化、反社会的勢力の排除を支援し、不正による損失を防ぎます。過去の蓄積情報や外部の付加価値データにも柔軟に対応し、不正防止をより精緻に行うことが可能になります。Hunter の WEB ベースのケース管理システムは、申請情報の不整合チェック、蓄積された申請情報チェック、内部・外部 DB チェックを行い、高度な不正防止網を作り上げます。

エクスペリアンジャパンの大森茂人最高執行責任者(COO) は次のようにコメントしました。「エクスペリアンジャパンの製品ラインに統合的な不正防止サービスが加わり、意思決定の高度化、申請処理の迅速化が図れるようになりました。日本語版 Hunter は、すでに国内に導入済みです。日本版はパートナーによる日本国内の電話帳と発信履歴データなどのデータベースが統合され、日本向けに不正防止機能を強化した製品になっています」

Hunter システムは、申請情報の不整合をユーザー定義によるルールパレットに従って審査します。さらに、論理型アルゴリズムにより、同一顧客の過去の申請情報や、蓄積された不正情報などを使って申請情報の照合が可能です。ロジックと相互参照により、個別の不正検知だけでなく、犯罪組織や第三者による不正なローン申請など、さまざまなケースで不正を判別することが可能です。これらの審査情報は Hunter のケース管理システムに蓄積され、ユーザーによるレビュー、調査、評価をサポートするワークフローに活用されます。

以上

本件に関する報道関係の方からのお問合せ先

エクスペリアンジャパン株式会社
小橋 輝雄 広報・事業推進担当
Email: info@jp.experian.com
Tel: 03 5402 8800

エクスペリアンについて

エクスペリアンは、65 カ国以上でデータや分析ツールを提供しているグローバルな情報サービス企業です。信用リスク管理、不正防止、マーケティングのターゲット絞り込みや意思決定の自動化などのサービスを提供しています。また、企業だけでなく個人に対しても、信用情報管理や ID 盗難防止などのお手伝いをしています。

Experian plc はロンドン証券取引所(EXPN)に上場し、FTSE 100 インデックスの銘柄にも選ばれています。2009 年 3 月期の年間売上高は 39 億ドルにのびりました。アイルランドのダブリンに本社を置き、イギリスのノッティンガム、米国カリフォルニア州コスタ・メサとブラジルのサンパウロに事業本部を構え、40 カ国で 15,000 人以上の従業員を擁し、ビジネスを展開しています。

詳しい情報は、次のエクスペリアングループのホームページをご参照ください。
<http://www.experian.co.jp/> (日本語)、<http://www.experianplc.com/> (英語)

© Experian 2010. All rights reserved.

「Experian」とそのロゴ は、Experianとその関連会社の、EU・米国・日本・各国における登録商標、または商標です。